

令和6年8月23日 公告

城東抽水所No.6雨水ポンプ設備工事(その1-2)

1 設計図書の一部に表記誤りがありました。下記正誤表をご確認ください。

訂正箇所	誤	正
特記仕様書 P18,19 第32条 据付工 4,5(2)	仕様書のとおり	仕様書のとおり

## 【誤】

空気管	ポンプ棟	
吸気管	ポンプ棟	
排気管	ポンプ棟	

### 第32条 据付工

- 1 機器類の据付は、下-2-1-3-8、10、11に準じる。
- 2 今回設置する各機器は、据付完了後、各部の調整を行い、無負荷にて円滑に運転できるように調整を行う。その後、実負荷により負荷運転を行う。
- 3 本工事で撤去する機器類は、次のとおりとする。

名称	設置場所	数量	備考
No.6雨水ポンプ	ポンプ棟	1台	満水検知器
No.6雨水ポンプ用吐出弁	ポンプ棟	1台	
No.6雨水ポンプ用逆流防止弁	ポンプ棟	1台	
No.6雨水ポンプ用原動機	ポンプ棟	1台	
No.6雨水ポンプ用減速機	ポンプ棟	1台	
真空ポンプ	ポンプ棟	2台	
補給水槽	ポンプ棟	1基	
消音器	ポンプ棟	1基	
燃料移送ポンプ	ポンプ棟	2台	
始動用空気圧縮機	ポンプ棟	2台	
作動用空気圧縮機	ポンプ棟	2台	
高架水槽	場内	1基	
地下燃料タンク	場内	1基	
高架水槽揚水ポンプ	ポンプ棟	2台	
鋼製品類	ポンプ棟	1式	

- 4 地下燃料タンクは休止措置のため乾燥砂が充填されている。本体撤去前に砂を除去し、産業廃棄物として適切に運搬・処分する。乾燥砂は約 12 m<sup>3</sup>とする。
- 5 高架水槽改築手順(参考)は次のとおりとする。
  - (1) 地下燃料タンク 上部躯体の撤去

(2) 地下燃料タンク内部の砂除去

- (3) 地下燃料タンクの撤去
- (4) 地下燃料タンク下部躯体の撤去（別途工事）
- (5) 高架水槽架台基礎及び架台設置（別途工事）
- (6) 高架水槽設置
- (7) 既設高架水槽撤去

第33条 雑工

- 1 本工事で設置する基礎等は次のとおりである。細部については、下-2-1-3-8及び下-2-1-3-10～15に準ずる。
- 2 本工事で設置する基礎等は次のとおりである。

名称	備考
No. 6雨水ポンプ	渦流対策含む
No. 6雨水ポンプ用吐出弁	
No. 6雨水ポンプ用逆流防止弁	
No. 6雨水ポンプ用原動機	油流出防止用溝設置
No. 6消音器	
始動用空気圧縮機	
燃料移送ポンプ	
鋼製品類	

- 3 既設機器類基礎は撤去し、既設構造物のはつり部分(新たに基礎等を造らないところ)についてはアンカーボルト類の切断を行う。また、シンダーコンクリート部分については、シンダーコンクリートを打設し、表面は、凹凸の無いようにモルタル左官金ゴテ仕上げを行う。
- 4 配管の壁貫通部のはつり、モルタル充填、補修塗装及び貫通部配管撤去後の復旧については、本工事で施工する。
- 5 屋内の排気管については、断熱被覆（ロックウール厚さ75mm＋カラー鉄板）を施す。
- 6 ポンプ開口部廻りの構造物改修については次の要領とする。
  - (1) 既設構造物のとりこわしにあたっては、既設構造物の鉄筋等に損傷を与えないよう施工する。また、撤去により露出した既設鉄筋には防錆処理を行い、モルタル等にて仕上げを行う。
  - (2) 施工に際しては騒音・粉じん対策を講じる。
  - (3) 躯体部に用いる鉄筋コンクリートの配合は24-12-20BB（水セメント比55%以下）とする。
  - (4) 無収縮モルタルの圧縮強度は30N/mm<sup>2</sup>以上とする。
  - (5) 使用する鉄筋については、D16以下はSD295A、D19以上はSD345とする。
  - (6) 鉄筋のかぶりは以下のとおりとする。

部 材	スラブ・壁	はり	柱
鉄筋のかぶり	5.0cm	6.0cm	7.0cm

- (7) あと施工アンカーの施工にあたっては、あと施工アンカー施工要領書（アンカーの種類、材質、寸法、施工方法、その他）を作成し、施工計画書に明記する。ま

## 【正】

空気管	ポンプ棟	
吸気管	ポンプ棟	
排気管	ポンプ棟	

### 第32条 据付工

- 1 機器類の据付は、下-2-1-3-8、10、11に準じる。
- 2 今回設置する各機器は、据付完了後、各部の調整を行い、無負荷にて円滑に運転できるように調整を行う。その後、実負荷により負荷運転を行う。
- 3 本工事で撤去する機器類は、次のとおりとする。

名称	設置場所	数量	備考
No.6雨水ポンプ	ポンプ棟	1台	満水検知器
No.6雨水ポンプ用吐出弁	ポンプ棟	1台	
No.6雨水ポンプ用逆流防止弁	ポンプ棟	1台	
No.6雨水ポンプ用原動機	ポンプ棟	1台	
No.6雨水ポンプ用減速機	ポンプ棟	1台	
真空ポンプ	ポンプ棟	2台	
補給水槽	ポンプ棟	1基	
消音器	ポンプ棟	1基	
燃料移送ポンプ	ポンプ棟	2台	
始動用空気圧縮機	ポンプ棟	2台	
作動用空気圧縮機	ポンプ棟	2台	
高架水槽	場内	1基	
地下燃料タンク	場内	1基	
高架水槽揚水ポンプ	ポンプ棟	2台	
鋼製品類	ポンプ棟	1式	

4 地下燃料タンクはタンク本体外部に乾燥砂が充填されている。本体撤去前に砂を除去し、産業廃棄物として適切に運搬・処分する。乾燥砂は約 12 m<sup>3</sup>とする。

- 5 高架水槽改築手順(参考)は次のとおりとする。

(1) 地下燃料タンク 上部躯体の撤去

(2) 地下燃料タンク本体外部の砂除去

- (3) 地下燃料タンクの撤去
- (4) 地下燃料タンク下部躯体の撤去（別途工事）
- (5) 高架水槽架台基礎及び架台設置（別途工事）
- (6) 高架水槽設置
- (7) 既設高架水槽撤去

### 第33条 雑工

- 1 本工事で設置する基礎等は次のとおりである。細部については、下-2-1-3-8及び下-2-1-3-10～15に準ずる。
- 2 本工事で設置する基礎等は次のとおりである。

名称	備考
No. 6雨水ポンプ	渦流対策含む
No. 6雨水ポンプ用吐出弁	
No. 6雨水ポンプ用逆流防止弁	
No. 6雨水ポンプ用原動機	油流出防止用溝設置
No. 6消音器	
始動用空気圧縮機	
燃料移送ポンプ	
鋼製品類	

- 3 既設機器類基礎は撤去し、既設構造物のはつり部分(新たに基礎等を造らないところ)についてはアンカーボルト類の切断を行う。また、シンダーコンクリート部分については、シンダーコンクリートを打設し、表面は、凹凸の無いようにモルタル左官金ゴテ仕上げを行う。
- 4 配管の壁貫通部のはつり、モルタル充填、補修塗装及び貫通部配管撤去後の復旧については、本工事で施工する。
- 5 屋内の排気管については、断熱被覆（ロックウール厚さ75mm＋カラー鉄板）を施す。
- 6 ポンプ開口部廻りの構造物改修については次の要領とする。
  - (1) 既設構造物のとりこわしにあたっては、既設構造物の鉄筋等に損傷を与えないよう施工する。また、撤去により露出した既設鉄筋には防錆処理を行い、モルタル等にて仕上げを行う。
  - (2) 施工に際しては騒音・粉じん対策を講じる。
  - (3) 躯体部に用いる鉄筋コンクリートの配合は24-12-20BB（水セメント比55%以下）とする。
  - (4) 無収縮モルタルの圧縮強度は30N/mm<sup>2</sup>以上とする。
  - (5) 使用する鉄筋については、D16以下はSD295A、D19以上はSD345とする。
  - (6) 鉄筋のかぶりは以下のとおりとする。

部 材	スラブ・壁	はり	柱
鉄筋のかぶり	5.0cm	6.0cm	7.0cm

- (7) あと施工アンカーの施工にあたっては、あと施工アンカー施工要領書（アンカーの種類、材質、寸法、施工方法、その他）を作成し、施工計画書に明記する。ま